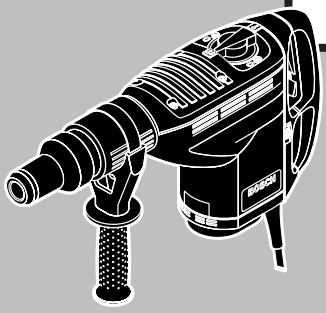
取扱説明書



SDS-max
ターボ
ハンマードリル
GBH 7-46DE 型

アース不要
の二重絶縁

このたびは、弊社ハンマードリルをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

BOSCH

目　次

安全上のご注意

警告表示の区分 2
電動工具全般についての注意事項 2
ハンマードリルについての注意事項 7

リサイクルのために

電動工具本体の回収にご協力ください 10

本製品について

用　途 11
各部の名称 11
仕　様 12
標準付属品 13

使い方

作業前の準備をする 14
作業する 18

困ったときは

故障かな？と思ったら 21
修理を依頼するときは 22

お手入れと保管

クリーニング 23
カーボンブラシの交換 23
保　管 23

安全上のご注意

◆火災、感電、けがなど事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
◆ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
◆お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
◆他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は 警告 と 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠警告

◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意

◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

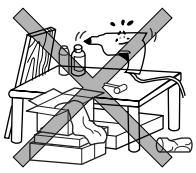
なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具全般についての注意事項

ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたハンマードリルには、当てはまらない項目も含まれています。

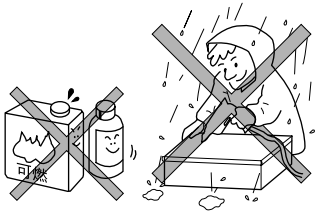
⚠ 警　告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。



◆ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2. 作業場の周囲状況も考慮してください。



◆ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
◆ 作業場は十分に明るくしてください。
◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

3. 感電に注意してください。

◆ 電動工具を使用中、アースされているものに身体を接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

4. 子供を近づけないでください。

◆ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
◆ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は錠のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。

◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

◆ 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

9. 保護めがねを使用してください。

◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉塵の多い作業では、防じんマスクを併用してください。

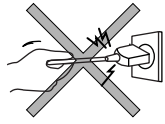
10. 防音保護具を着用してください。

◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11. 集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。

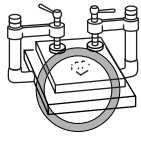
◆ 電動工具に集塵機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。



◆ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 加工するものをしっかりと固定してください。



◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

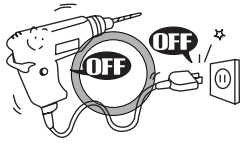
◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

◆ 使用しない、又は修理する場合。
◆ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
◆ その他危険が予想される場合。



17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

◆ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

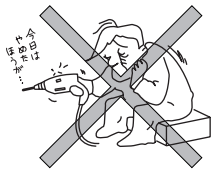
18. 不意な始動は避けてください。

◆ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
◆ プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

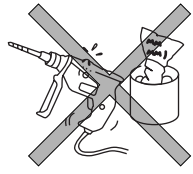
20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。



◆ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
◆ 常識を働かせてください。
◆ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか、十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
◆ 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターへ修理を依頼してください。



◆ スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

◆ この取扱説明書、及びボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

◆この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申しつけください。
◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ハンマードリルについての注意事項

電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、ハンマードリルをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

⚠ 警　告

1. **必ずアース（接地）してください。（二重絶縁品、低電圧品は除く）**

2. **アース線をガス管に接続しないでください。（二重絶縁品、低電圧品は除く）**

3. **使用電源は必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。**

4. **穴あけ作業中、本体が振り回されることがあります。使用中は、本体を確実に保持してください。（破つりハンマーは除く）**

5. **使用中は、工具類や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。**

6. **作業中、工具が電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れの恐れがあります。作業前に埋設物がないかどうか十分確認してください。**

7. **誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、工具類や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
   ◆ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

8. **使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたりしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。**
   ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

9. **シリカや石綿は人体に有害です。このような材料に穴あけするときは、防塵対策をしてください。**

10. **つなぎコードは、アース中断線を備えた3芯コードを使用してください。（二重絶縁品、低電圧品は除く）**

⚠ 注　意

1. 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。

2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。

3. 作業時はヘルメット、安全靴を着用してください。

4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。

5. 作業直後の工具類や、材料、切り屑などは、非常に熱くなっていますので、触れないでください。

6. 本体を作動させたまま床などに放置しないでください。

リサイクルのために

電動工具本体の回収にご協力ください

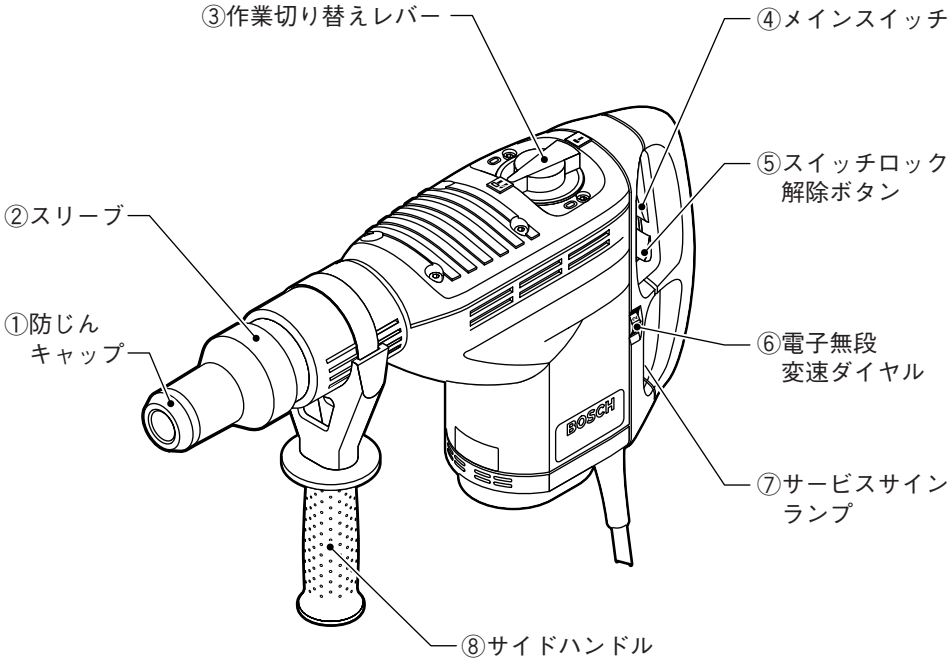
弊社では、不要になった電動工具本体のリサイクル活動を推進しています。不要になった電動工具本体を処分するときは、お買い求めになった弊社電動工具取扱販売店にご相談ください。
資源保護・環境保護のため、弊社の推進するリサイクル活動にぜひご協力くださいますよう、お願い申しあげます。
電動工具本体の回収・リサイクルは、弊社の製品に限らせていただきます。

本製品について

用　途

◆ コンクリート、石材への穴あけと破つり作業

各部の名称



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

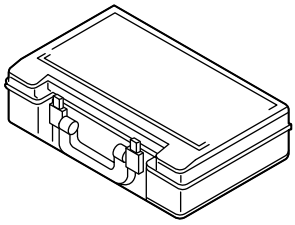
仕　様

型　番	GBH 7-46DE
電　源	AC100V,50／60 Hz
消費電力（入力）	1350 W
回転数（無負荷時）	145～280 min^{-1} {回転／分}
打撃数（無負荷時）	
穴あけ	1350～2700 min^{-1} {回／分}
破つり	1375～2800 min^{-1} {回／分}
打撃力	
穴あけ	2～13 J
破つり	2～15 J
ツールホルダー	SDS-max
コンクリート穴あけ能力	
ドリルビット	最大45 mmφ
無筋コンクリート用ビット	最大80 mmφ
コアビット	最大150 mmφ
打撃+回転の有無	有
回転停止機構の有無	有
バリオロック機構の有無	有（30度ずつ12段階）
質　量（サイドハンドル含む）	8.2 kg

*バリオロック機構とは、先端工具の角度を変更できる機構のことです。

標準付属品

サイドハンドル
品番：2 602 025 103



キャリングケース
品番：2 605 438 396

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

作業前の準備をする

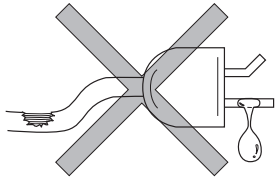
⚠警告

◆ 作業前の準備をするときは必ず「メインスイッチ④」を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

使用電源を点検する

● 単相　ＡＣ100 Ｖ（50/60 Hz）か？
● 電源コンセント不良（ガタ）のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
● 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していないか？



電子タイプ（コンスタント機能）電動工具をご使用時の電源に関するお願い

使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
電力供給が不安定な場合には電力が一定に供給できるようにしてください。

● 配電器を使用する場合には昇圧器等の対策をしてください。
● 発電機を電源とする場合にはインバーター式発電機をご使用ください。

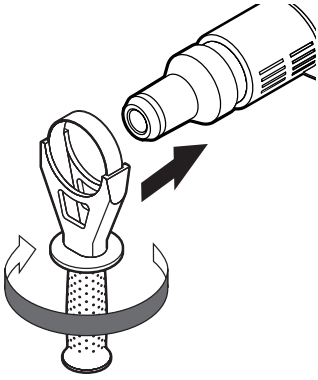
電力の供給が一定でないと製品に損傷を与えたり、製品が正常に作動しない場合があります。

サイドハンドルを取り付ける・取り外す

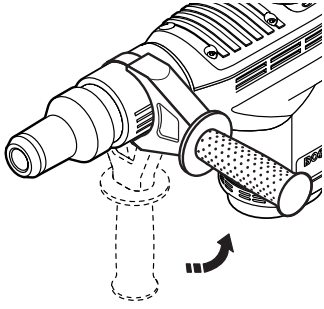
取り付け

1. グリップ部分を回してサイドハンドル⑧を緩めます。

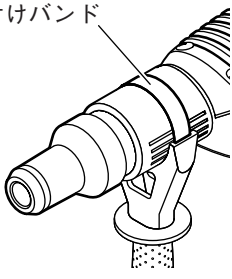
2. 本体に差し込みます。



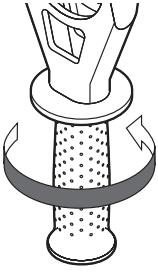
3. サイドハンドル⑧を回して、作業に適した位置に合わせます。



4. 締め付けバンドが、奥まではまっていることを確認します。



5. グリップ部分を回して、しっかりと締めます。
   この際、ガタつきがないか確認してください。

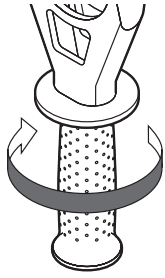


☞ 作業に適した位置にサイドハンドル⑧を固定すると、作業中に安定した姿勢が取れ、疲労を減らすことができます。

取り外し

1. グリップ部分を回して緩めます。

2. 本体から抜き取ります。



先端工具を選ぶ

材料、作業内容に合わせて先端工具を選択してください。

先端工具（または別売アクセサリー）を取り付ける・取り外す

⚠警告

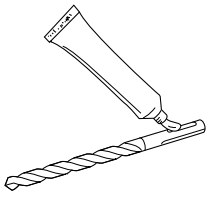
- ◆ けがの発生を防ぐため、先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠注意

- ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。冷たくなってから、先端工具を取り外してください。
- ◆ 先端工具は、刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。
- ◆ 本体の故障を防ぐため、防じんキャップ①に異常がないか確認してください。損傷がある場合は交換が必要です。
  （「修理を依頼するときは」を参照してください）

取り付け

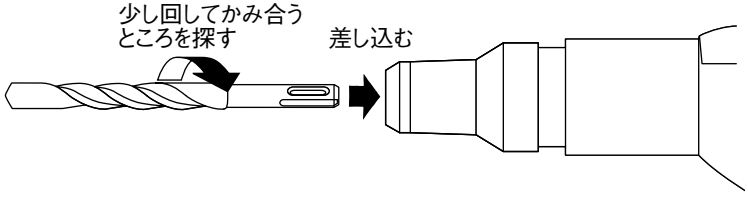
1. 先端工具の挿入部分を清掃し、
   グリスを塗ります。



2. 先端工具を取り付け孔に差し込み、少し回してかみ合うところを探します。

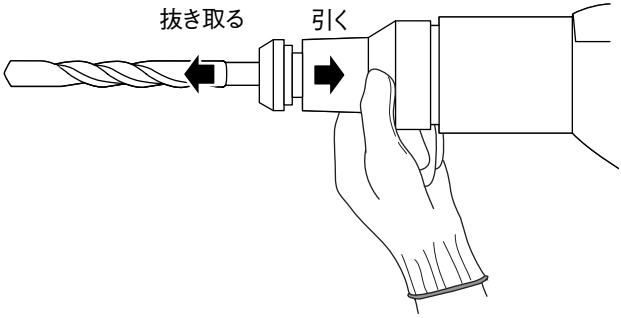
3. かみ合ったところで、さらに深くカチッと音がするまで差し込み固定します。

4. 確実に取り付けられたかどうか、先端工具を引いて抜けないことで確認します。



取り外し

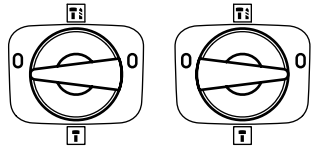
スリーブ②を後方へ引きながら、先端工具を抜き取ります。



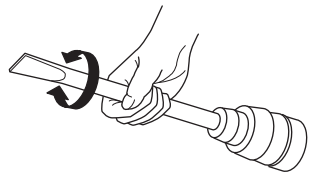
① 破つり用先端工具の向きをセットする（破つり作業時）

1.「作業切り換えレバー③」を **0** の位置に合わせます。

作業切り替えレバー



2. 先端工具を任意の向きに回します。



☞ 先端工具の向きは、30度ずつ12段階にセットすることができます。
☞ 先端工具の向きは、「作業切り替えレバー③」を ⊤（破つり）の位置にすると固定されます。

使い方

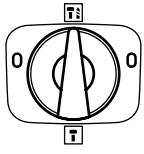
② 「作業切り替えレバー③」を作業に合わせた位置にしっかりと切り替える

⚠注意

- ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「作業切り替えレバー③」を切り替えてください。「メインスイッチ④」を引き込んでいるとき、「作業切り替えレバー③」は切り替えないでください。
- ◆ 破つり作業を行うときは、「作業切り替えレバー③」を必ず ⊤（破つり）に切り替えてください。

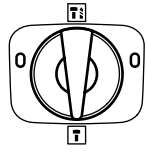
穴あけ

作業切り替えレバー



破つり

作業切り替えレバー



3 電源プラグを電源コンセントに差し込む

⚠警告

◆「メインスイッチ④」がいっぱいまで引き込まれた状態になっていないことを確かめてから、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。

4 「電子無段変速ダイヤル⑥」を設定する

☞「電子無段変速ダイヤル⑥」を“低速側”にして長時間作業することは、避けてください。モーターと連動している冷却ファンの回転数が落ち、冷却効果が下がります。

☞ 試し穴あけなどをして、最適な回転数を求めてください。

ダイヤル目盛り	回転 ＋ 打撃		打撃
	回転数	打撃数	打撃数
1	145	1350	1375
2	170	1625	1650
3	200	1975	2025
4	225	2175	2225
5	255	2475	2550
6	280	2700	2800

5 「メインスイッチ④」を操作する

⚠警告

- ◆ 作業中に振り回されないよう、ハンマードリル本体にサイドハンドル⑧を取り付けてください。両手で本体のグリップとサイドハンドル⑧をしっかり保持し、作業してください。
- ◆ 作業中は常に、ハンマードリル本体より後方に電源コードがくるようにしてください。
  電源コードが回転部に巻き込まれると事故の原因になります。

⚠注意

- ◆ 作業時、ハンマードリル本体は軽く押しつけるだけで穴あけできます。必要以上に強く押しつけると、作業効率が低下します。
- ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
- ◆ 先端工具が材料に引っ掛かったり、斜めに進んだりすると、安全クラッチの働きにより回転が止まります。

使い方

スイッチのON/OFF

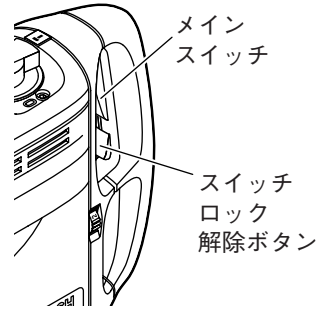
スイッチのON/OFFは「メインスイッチ④」と「スイッチロック解除ボタン⑤」で行います。

穴あけ時（回転+打撃）

スイッチON　：「メインスイッチ④」を引き込みます。
スイッチOFF　：「メインスイッチ④」をはなします。

破つり時（打撃）

スイッチON　：「メインスイッチ④」を引き込みます。
スイッチOFF　：「スイッチロック解除ボタン⑤」を引き込みます。



困ったときは

故障かな？と思ったら

① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症　状	原　因	対　処
「メインスイッチ④」を引き込んでも、回らない	電源コードが断線している	修理を依頼する
	スイッチが故障している	修理を依頼する
「作業切り替えレバー③」が切り替わらない	中の切り替え部のかみ合わせが悪い位置になっている	2～3回作動させ、再度切り替える
穴あけなどに時間がかかる（穴があかない）	先端工具が摩耗している	先端工具を交換する
	使用電源の電圧が低い	100Vの電源を使う
	寒くてグリスが固くなっている	数分間、暖機運転をする
回ったまま、止まらない	「メインスイッチ④」が保持状態になっている	「スイッチロック解除ボタン⑤」を引き込み、保持状態を解除する
先端工具が挿入できない	ツールホルダー内に異物がつまっている	修理を依頼する
サービスサインランプ⑦が点灯している	カーボンブラシの交換時期になっている	オーバーホールを依頼する

修理を依頼するときは

◆『故障かな？と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社お客様ご相談フリーダイヤルまでお尋ねください。

◆修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
または、弊社ホームページでご案内しています修理認定工場から最寄りの修理認定工場をお選びいただくか、ボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。

◆この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

お客様ご相談フリーダイヤル 0120-345-764
土・日・祝日を除く、午前10：00～12：00、午後1：00～4：00

ボッシュ株式会社ホームページ　http://www.bosch.co.jp

ボッシュ電動工具サービスセンター北海道
〒003-0873 北海道札幌市白石区米里3条2-6-33
TEL 011-875-2388　FAX 011-879-2138

ボッシュ電動工具サービスセンター
〒360-0107 埼玉県大里郡江南町大字千代字東原39
ゼクセルロジテック内
TEL 048-536-7171　FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本
〒890-0131 鹿児島県鹿児島市谷山港2-5-16
TEL 099-262-3689　FAX 099-210-8607

お手入れと保管

⚠警告

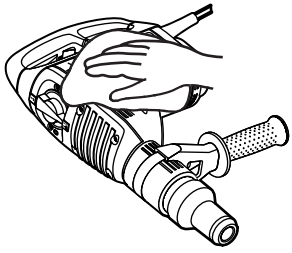
◆ お手入れのときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

クリーニング

通風口やスリーブなどに付いたゴミ、ホコリを取り除く

乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

☞ 変色の原因になるベンジンなどの溶剤は使わないでください。



カーボンブラシの交換（サービスサインランプ）

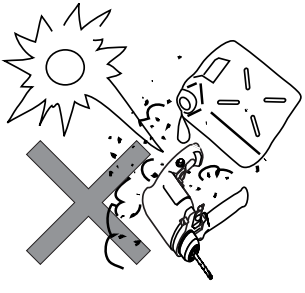
● サービスサインランプ⑦は、カーボンブラシ交換時期の約8時間前になると点灯します。
サービスサインランプ⑦が点灯したら、カーボンブラシを交換してください。

☞ カーボンブラシの交換作業は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに依頼してください。

保　管

ハンマードリルを使った後は、きちんと保管する

● 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
● 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
● 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
● ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。



MEMO

● 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
● 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
● 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

BOSCH

ボッシュ株式会社　電動工具事業部

ホームページ：http//www.bosch.co.jp

〒224-8501　神奈川県横浜市都筑区牛久保 3-9-1

お客様ご相談フリーダイヤル

0120-345-764

（土・日・祝日を除く、午前10：00～12：00、午後1：00～4：00）

EMA-GBH7-46

1 619 929 672 (04.07)